

2011年9月27日

電通、「スパイクス アジア広告祭 2011」において メディア・エージェンシー・オブ・ザ・イヤーを受賞

「スパイクス アジア広告祭 (Spikes Asia Advertising Festival 2011)」が、9月18日から20日、シンガポールで開催された。17の国と地域から3,647のエントリー作品があった本年の同広告祭において、電通はメディア・エージェンシー・オブ・ザ・イヤーを受賞した。

同時に、デジタル、メディア、プロモ&アクティベーション、デザインの4部門で、計6つの金賞を受賞した。

具体的には、デジタル部門で「UNIQLO LUCKY LINE」(広告主:株式会社ユニクロ)が金賞を受賞した。

また、メディア部門では電通沖縄と制作した「スポーツ・シンクロマーシャル」(広告主:沖縄製粉株式会社)、電通九州との共同制作による「祝!九州:縦断ウェブ(九州新幹線全線開業キャンペーン)」(広告主:九州旅客鉄道株式会社)の2作品がそれぞれ金賞を受賞した。なお、電通九州との共同制作の同作品は、プロモ&アクティベーション部門でも金賞に輝いた。

そして、デザイン部門では「あなたの支援が、世界の子どもを救う。カンボジアの児童買春撲滅にご協力ください。」(広告主:NPO法人かものはしプロジェクト)と「Peel and See What You Get! Mr. GRAPE & Miss ORANGE」(広告主:株式会社 明治)の2作品がそれぞれ金賞を受賞した。

この他に、銀賞を4部門で8つ、また、銅賞を6部門で6つ受賞した。

また、同広告祭において行われた「ヤング・スパイクス・インテグレートッド」では、電通の下浜臨太郎と馬場俊輔のペアが金賞を受賞した。

<スパイクス・アジア広告祭について>

アジア太平洋地域における広告の創造性を祝うスパイクス アジア広告祭は、国際広告祭(International Advertising Festival)とヘイマーケット・メディア社(Haymarket Media)の協力によって運営されている。

応募作品はアジアで公開されていることが条件であり、部門はフィルム、プリント、アウトドア、ラジオ、デジタル、ダイレクト、メディア、プロモ&アクティベーション、デザイン、フィルム・クラフト、プリント&ポスタークラフト、PR、インテグレートッド、モバイルの全14部門からなる。